

「名古屋のタヌキ」なう

名和 明

祝「たぬき道」再開！！ 都市部でのタヌキ生息が話題になることが多い昨今、名古屋市内のタヌキ出現概況を報告します。

調査は市関係機関からの依頼で実施した。地権者の許可を得て、自作センサーフィルムカメラを2004年1月3日から2007年6月17日まで、市内85カ所にのべ1050カメラ日設置し、2010年7月26日から同年12月11日までは、自作センサーハイビジョンビデオカメラを、のべ71カメラ日設置し調査した。しかし、都市圏で設置場所が限定されることから、市内全域でおよそ390におよぶ三次メッシュ（約1km²）のうち調査できたのは34メッシュ（8.7%）にとどまった。原則として設置は同所では2週間以内とし、場合により少量のドッグフードを誘引餌として用いた。参考までに撮影枚数がどのように増加したかの一例を図1に示した。タヌキがいればだが、はじめの3日間は勝負か？

た。丘陵部はあるものの、濃尾平野のただ中にある名古屋も多士？ 済々（表1）。が、個体数が多いわけではない。念のため。

表1 センサーフィルムカメラでの撮影枚数・メッシュ数

種名	撮影枚数	撮影メッシュ数	全調査メッシュに占める割合(%)
ニホンザル	1	1	2.9
ニホンノウサギ	9	1	2.9
アナウサギ	10	1	2.9
ニホンリス	13	1	2.9
アカネズミ	117	11	32.4
クマネズミ	17	4	11.8
アライグマ	122	5	14.7
アカギツネ	18	4	11.8
タヌキ	682	21	61.8
ノイヌ	77	7	20.6
イエネコ	280	15	44.1
イタチsp	4	3	8.8
ハクビシン	49	6	17.6
カモシカ	48	1	2.9

計 1447 (撮影枚数には重複がある)

そのうち、撮影枚数、メッシュ数ともにタヌキが一番多い（個体数が多いわけではなさそう、くどい！）。しかも分布域も広そうだ（図2）。これが、名古屋のタヌキの近況です。

佐伯さん、

どう読み解けばよいのですか？

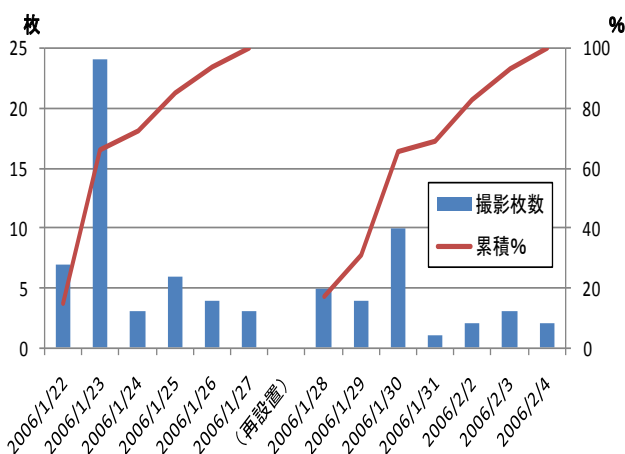


図1 撮影枚数と累積%（誘因餌使用）

結果、センサーカメラでは、1444枚に哺乳類が撮影された。直接撮影したヌートリアや、センサービデオカメラで撮影されたイノシシを含め、11科16種の哺乳類が確認でき

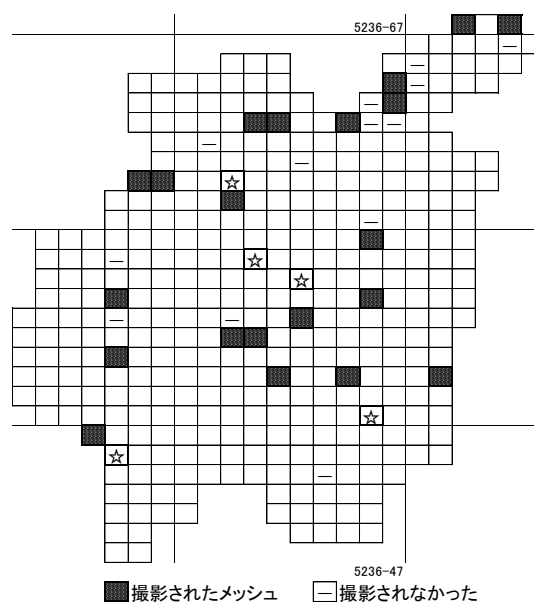


図2 出現が確認されたメッシュ

(自己紹介) 定年となり様々な仕事から解放された今の趣味は、ライブ参戦！今年のライブNo.1はなんといってもビーチボーイズ！No.2は Perfume、No.3は山下達郎・・・